令和6年度7月保護者会 6/28・7/1

本日はお集まりいただき、ありがとうございます。おかげさまで、子供たちは、とても楽しそうに、やる気いっぱい学校生活を過ごしております。心より感謝申し上げます。

さて、私からは、夏休みに向けて、大きく2点お話をさせていただきます。

まずは、夏休みだからこそ「探究」と「読書」を深めてください。各学年の宿題は、必要最小限に留めています。この「探究」「読書」について、夏休み前に校長だよりで詳しくお伝えしますので、是非、取り組んでほしいと思います。

少々固いお話をしますと、子供たちが生きるこれからの社会は、私たち大人が生きてきたそれとは全く異なります。知識理解ももちろん大切ですが、**新たな価値を創造する力**などが求められます。それは、私たちの責務と考えています。

今年の夏休みも、ふじみ寺子屋や調べ学習の相談会など、開催しますので、是非ご利用ください。

次に、してほしくないこと、してはいけないこと、ネット依存や事件、事故、犯罪に巻き込まれるなど、様々な危険から身を守ることにについてです。今日の本題です。

このショッキングな画像はぼかしを入れていますが、何だか分かりますでしょうか？ 海外のたばこのパッケージです。「喫煙は心臓病を引き起こします」と明記されています。

日本では、「おそれがあります」とか「危険性を高めます」とか、だいぶ柔らかい表現になっています。ここでお伝えしたいことは、たばこの危険性そのものではなく、その危険性を国や社会、企業などがどのように伝えているか、「**利権等**を乗り越え、**社会が人々を守る姿勢の違い**」です。

たとえば、子供たちのスマホやネット依存の危険性については、校長だより等でも繰り返しお伝えしてきましたが、アメリカでは、たばこのパッケージと同じように「**警告文を掲載する立法措置が提言**」されたというニュースがありました。

日本でも SNS の利用に、年齢制限があることを御存知でしょうか。しかし、それらは法令ではなく、各企業が自主的に設けているものです。子供たちを取り巻く環境は、欧米よりも遥かに危険であると、捉えるべきだと思います。

健全育成の面から考えると、日本は子供たちにやさしくない、子供たちが生きにくい社会と言えるかもしれません。

先ほどの SNS の警告文の記事です。アメリカでは 10 代の平均利用時間が 4.8 時間、驚異的です。様々なリスクがあることも検証されています。

これは、子供への性犯罪の記事です。子供が SNS で大人とつながり、性被害や誘拐等の犯罪に巻き込まれるケースが後を絶ちません。ここで、大事なことは、SNS を通して見知らぬ大人と会ったり、性的な画像を送ったり、そういう子供が悪い、という話ではありません。

大事なことは、子供は大人と違う、まだまだ成長の過程にあるということ、私たち大人がしっかり認識することです。子供は、社会的に弱い立場にあります。そのため、成長の過程で特別な保護や配慮が必要な権利を有しています。

大人と同じように夜更かしをしたり、遅い時間に出歩いたり、長時間テレビを見たり、安易にスマホを与えたり、子供の健全な成長の権利を奪うことにつながります。

もちろん学校では、それぞれの成長段階に応じて、様々な学習をしています。たとえば、この写真は、先週の 3 年生の情報モラルの授業の様子です。これは、4 年生です。

これらの学習に正解はありません。あれがダメ、これがダメという知識ではなく、大切なのは、子供たち自身が考え、自分のものとして積み重ねていく過程です。そうして、一人一人がより良い判断ができるように学んでいます。

夏休みは、ご家庭や地域の中で子供たちが大きく成長する絶好のチャンスです。お子さんと一緒に素敵な時間を過ごしていただければと思います。